

人間ドック・健診センター

健康管理室

【はじめに】

平成29年度は、これまでのワクチン管理や感染・針刺し事故後のフォロー、ストレスチェック、職員の特定保健指導、針さしキットの定着化に加え、職員健診後の個別事後指導、腰痛対策の強化を図った。

【実績・結果】

1. 感染症予防対策

1) HB・四種感染症ワクチン接種管理

対象者: 平成29年度雇入れ健診実施職員で感染症抗体価(B型肝炎、四種感染症)が基準値以下または陰性者。現行の職員に対しては、職員健診実施職員のうち、B型肝炎の抗体価が基準値以下または陰性者。

- ・B型肝炎接種対象者91名に3回接種、ブースター接種対象者37名に1回接種
- ・風疹接種対象者51名に2回接種
- ・水痘接種対象者8名に2回接種
- ・ムンプス接種対象者44名に2回接種
- ・MR接種対象者59名に2回接種
(平成28年度対象者はMRワクチンが未入荷で接種できていなかったが平成29年度に接種済み)
- ・麻疹対象者26名はワクチンが未入荷であり、入荷次第接種予定

2) 雇い入れ時T-SPOT検査

雇い入れ健康診断時に、全入職者に対し、T-SPOT検査を実施しており、結果が陽性者・判定不可能者・判定保留者に対しては受診勧奨をした。検査の結果、平成29年度雇い入れ健診受診者221名のうち陽性2名・判定保留7名・判定不可1名であったが、いずれも結核感染者はいなかった。

3) 針刺し等事故の追跡検査

院内感染対策委員会から報告を受け、対象者に対して規定の追跡検査を実施するよう指導を行なっている。平成29年度、感染・針刺し事故報告は25件であった。そのうちの5件はフォロー中である。感染源の内訳は汚染血不明が1件、HCV・HBVが4件である。

定期的に診察、血液検査を受けており、感染者の報告は平成30年4月現在、見られていない。その後の経過は記録保存をしている。

2. 職員健康診断

1) 平成29年度前期職員健診(特定業務従事者健診)

対象者: 深夜勤・電離放射線・特定化学物質・有機溶剤取扱業務従事者 526名

実施期間: 7月3日～7月13日

健診受診率 100%

(医師: 100% 看護職: 100%)

事務職: 100% コメディカル: 100%)

2) 平成29年度後期職員健診

対象者: 全職員(協会けんぽ生活習慣病予防健診受診者以外) 657名

実施期間: 2月5日～2月23日

健診受診率: 100%

(医師: 100% 看護職: 100%)

事務職: 100% コメディカル: 100%

休職者及び産休・育休者を除く)

3) 平成29年度協会けんぽ生活習慣病予防健診

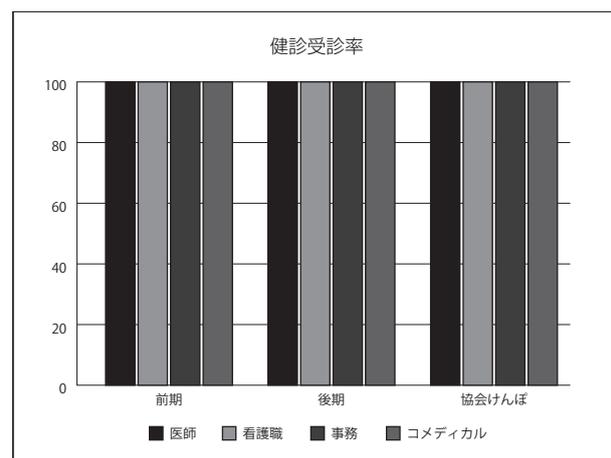
対象者: 35歳以上で希望した職員 472名

実施期間: 11月1日～2月28日

健診受診率: 100%

(医師: 100% 看護職: 100%)

事務職: 100% コメディカル: 100%)



【展望】

今後も、ワクチン接種及び雇入れ・職員健診の受診勧奨や追跡調査を確実にを行い、職員の健康管理を継続していくとともに、平成30年度は職員腰痛予防対策として健診や予防教育を行い、腰痛

有訴者の減少と二次検査受診率の向上を目指す。また、針さしキットやエビネットを導入し、感染管理が定着してきているため、今後も感染症管理を強化し針刺し事故件数の減少や、安全意識向上

への取り組みを図る。また、メンタルヘルスについては、ストレスチェックに加えてラインケアやセルフケアを充実させ、職員全体のメンタルヘルス対策を強化していく。

[文責：南 芳子]

人間ドック・健診センター

【はじめに】

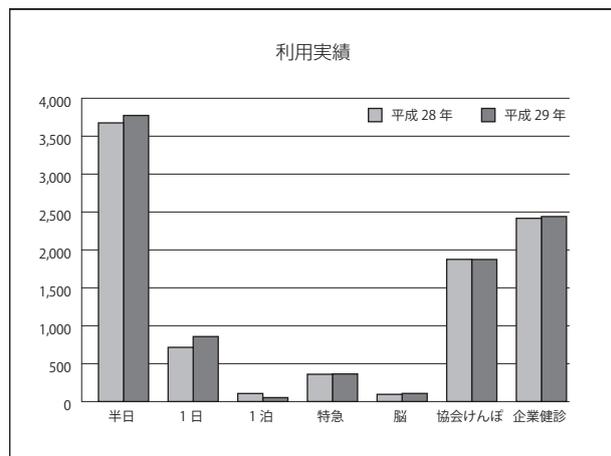
前年度より内視鏡検査件数を増加させる取り組みを行ってきたが、平成29年4月より1日12名に増枠できた。また、結果説明や生活指導を聞く受診者数も増やすことができた。便潜血陽性者の二次検査については、外来と連携し当日内科受診できる時間を延長することで、当日外来受診する人数が増えた。新しい健診（ドック）先を獲得したことや、冬場対策としてインターネット予約サイト会社と契約したことで売上も順調に推移し、目標比、前年度比ともに105%となった。受診者満足度アップについては、健康クロスワードを実施し、健康への関心を高めることができた。

【スタッフ紹介】

医師 1名、看護師 2名
 保健師 7名（内1名パート）
 臨床放射線技師 1名
 臨床検査技師 3名（内2名パート）
 管理栄養士 1名、事務 6名

【利用実績】

平成29年度の総受診者数は9,467人



(職員健診は協会けんぽ健診と企業健診に含まれる)

【健診結果集計】

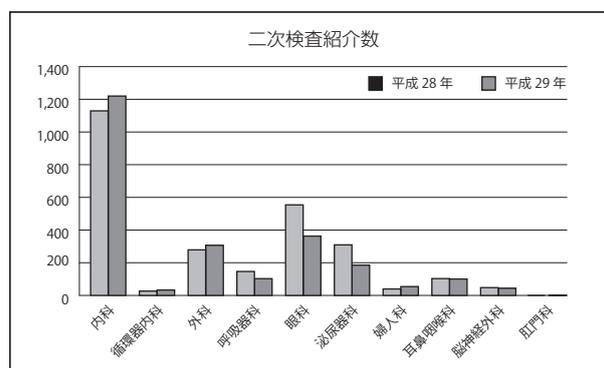
	年度	男性	女性	計
異常所見なし	H28	68	287	355
	H29	86	311	397
軽度異常あり	H28	227	385	612
	H29	251	391	642

※所見別、要経過観察、要医療、要二次検査判定については(別表1)参照。

【二次検査紹介数】

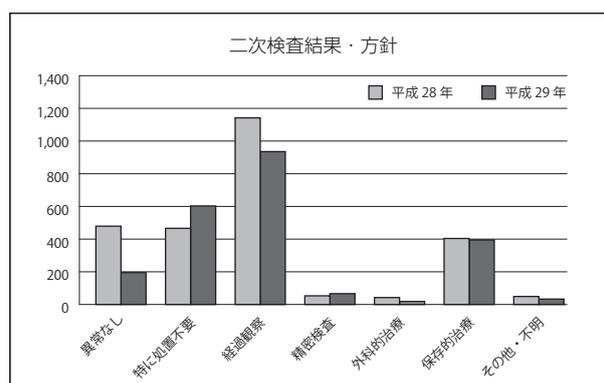
健診の結果、二次検査・精密検査が必要な方には医療機関受診の案内書を発送している。

当院の各専門科への紹介においては、円滑な外来受診ができるように心がけている。



【二次検査結果・方針】

二次検査については、毎月追跡調査を行っている。当院の各専門科、他院からの結果報告の回収は事後指導、精度管理に役立っている。



【悪性腫瘍発見数】

悪性腫瘍の疑いのある受診者に対しては、各検査科と連携をとり、速やかに医療機関を受診できるよう対応している。

疾患	年	
	平成 28 年	平成 29 年
胃癌	2	1
食道癌	0	1
肺癌	1	5
腎癌	2	0
大腸癌	7	3
乳癌	3	4

子宮癌・卵巣癌	1	0
前立腺癌	2	2
甲状腺癌	0	0
計	18	16

【特定保健指導数】

平成 20 年度より管理栄養士・保健師による特定保健指導を行っている。

疾患	年	
	平成 28 年	平成 29 年
動機付け支援	99	115
積極的支援	77	110
計	176	225

年	経過観察						要医療						要精査					
	総数		男		女		総数		男		女		総数		男		女	
	平成 28 年	平成 29 年																
肥 満	1,436	1,516	860	878	576	638	0	1	0	1	0	0	24	30	15	18	9	12
呼 吸 器 疾 患	695	728	456	462	239	266	61	60	44	32	17	28	200	136	140	86	60	50
高 血 圧	654	740	310	361	344	379	737	743	560	538	177	205	0	0	0	0	0	0
高コレステロール血	1,274	1,385	759	790	515	595	0	0	0	0	0	0	370	385	192	191	178	194
高 中 性 脂 肪	293	304	252	253	41	51	0	0	0	0	0	0	61	61	39	28	22	33
高 尿 酸	319	327	308	309	11	18	0	0	0	0	0	0	40	44	40	44	0	0
心 電 図 異 常	370	420	208	226	162	194	56	62	46	52	10	10	50	57	30	37	20	20
食 道 疾 患	182	102	140	75	42	27	4	5	4	4	0	1	9	11	7	11	2	0
胃 疾 患	1,310	1,014	708	541	530	473	8	9	6	7	2	2	198	183	119	109	79	74
十 二 指 腸 疾 患	85	66	68	55	17	11	7	3	6	2	1	1	2	2	2	2	0	0
胆石・胆のうポリープ	1,872	1,880	1,262	1,245	610	635	2	4	1	2	1	2	61	52	41	38	20	14
肝 機 能 異 常	2,334	2,399	1,434	1,436	900	963	3	5	1	2	2	3	561	535	429	421	132	114
糖 尿 病	457	596	306	389	151	207	1	0	1	0	0	0	251	291	193	221	58	70
血 液 疾 患	970	887	452	402	518	485	38	38	4	0	34	38	319	344	112	123	207	221
便 潜 血	0	1	0	1	0	0	3	8	3	8	0	0	666	556	412	318	254	238
前 立 腺 疾 患	101	108	101	108	0	0	3	0	3	0	0	0	41	48	41	48	0	0
婦 人 科	129	161	0	0	129	161	7	109	0	96	7	13	48	55	0	0	48	55
乳 房 疾 患	5	15	0	0	5	15	2	0	0	0	2	0	129	203	0	0	129	203
そ の 他 の 疾 患	376	312	263	204	113	108	16	4	8	0	8	4	1,842	1,985	1,023	1,045	819	940
総 計 (延べ件数)	12,862	12,961	7,887	7,735	4,903	5,226	948	1,051	687	744	261	307	4,872	4,978	2,835	2,740	2,037	2,238

(別表 1) 財団法人 日本病院会 基準